

日本木材学会生物劣化研究会 2026 年春季研究会（講演会・連絡会）
主催：（一社）日本木材学会 生物劣化研究会 協賛：（公社）日本木材保存協会

日時：2026 年 3 月 18 日（水）13:00～15:50

会場：広島大学東広島キャンパス・工学部 B116 教室（木材学会第 2 会場）

テーマ：木材保存分野における非破壊劣化診断の進展と今後の展望

近年、建築物の木造化・木質化が活発に進められる中で、「木質部材の長期耐久性をいかに確保するか」が重要な課題となっています。

本研究会では、木質部材の非破壊劣化診断技術の実用化に向け、各分野で研究に取り組まれている 3 名の研究者、および設計・建設の現場に精通する企業担当者を講師としてお迎えしました。最新の研究成果に加え、現場での維持管理における課題など、多角的な視点で、木造建築の信頼性を支える技術開発と今後の展望についてご講演いただきます。

プログラム：

13:00～13:05 講演会挨拶

13:05～13:35 「木材中で目に見えないシロアリの摂食活動の非破壊モニタリング」

京都大学 生存圏研究所 准教授 築瀬 佳之 氏

13:40～14:10 「ガスセンサを用いた腐朽検知」

北海道立総合研究機構 林産試験場 鈴木 昌樹 氏

14:15～14:45 「見えない劣化を診る：材料応答に基づく塗装木材の非破壊劣化診断」

京都大学大学院 農学研究科 准教授 寺本 好邦 氏

14:50～15:20 「中大規模木造木質建築の現在地と維持管理の課題」

前田建設工業株式会社 窪崎 小巻 氏

15:20～15:30 全体質疑・閉会挨拶

15:30～15:35 休憩

15:35～15:50 連絡会：今年度の活動報告

参加費：無料

参加申込：

資料配布準備のため、申込フォーム（<https://forms.gle/DcjJvVw1288dqXQ6>）にて、氏名、所属、連絡先をお知らせください。申込フォームからの登録ができない場合は、お手数ですが下記お問合せ先まで「氏名・所属・連絡先」を添えてご連絡ください。なお、講演会については事前申し込みなしでの当日参加も可能です。



お問合せ先：

伊佐治 信一（北海道立総合研究機構）E-mail：isaji-shinichi@hro.or.jp

浅井 源二郎（大日本木材防腐株式会社）E-mail：genjiro_asai@d-m-b.co.jp